

事業所名

放課後等デイサービスどんぐりココロ01

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

23日

法人（事業所）理念		子どもの意思及び人格を尊重し、一人ひとりの個性に合わせた療育を行っていきます。 子ども達にとって安心できる楽しい場所であることを大切に支援していきます。						
支援方針		1、障害児が生活能力の向上のために必要な支援を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援を行います。 2 事業所は障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害児及び通所給付決定保護者の意思をできる限り尊重するための配慮をします。 3 地域及び家庭との結びつきを重視し、保護者の所在する市町村、その他の指定通所支援事業者、指定障害福祉サービス事業者、その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めます。						
営業時間		9時	分から	17時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	毎日検温を行い、心身に少しでも異変が無いか観察を行います。食事・整容・排泄・着脱・準備/後片付けなど児童に見合った生活に関する療育を行っていきます。						
	運動・感覚	粗大運動では大きく体全体を使った、走る、移動する、ジャンプする、捕まえるなどを盛り込んだプログラムを実施していきます。微細運動では摘まむ、挟む、はめる、通す、書く、切る、さす、塗るなどを盛り込んだプログラムを実施していきます。感覚では、これらの運動プログラムにより5つの触覚・嗅覚・味覚・聴覚・視覚に働きかけていきます。						
	認知・行動	身体部位・色・比較・位置・分類・感情・時間・数・図形に関するプログラムを実施します。						
	言語 コミュニケーション	非言語（身振り/指さし/サイン/ジェスチャー）・言語・文章等はプログラムを通してコミュニケーションの支援を行っていきます。また、構造化によるコミュニケーション手段の習得等、取り組んでいきます。						
	人間関係 社会性	自分と他者との関係性の習得や社会スキルの習得等は、プログラムを通して習得するように支援していきます。						
家族支援		個々の子どもに関する支援と意図に関する説明/相談/助言などを実施いたします。きょうだい児や家庭生活、集団生活等、相談を実施していきます。			移行支援	平行通所先や移行先の事業所、学校等と連携に取り組み、連続した支援が行われるよう取り組んでいきます。また別の異なる場所でも適切な行動がとれるように支援していきます。		
地域支援・地域連携		地域社会と児童のつながりを重視して、社会の一員であることを感じるよう支援していきます。公園や学童保育所、学校、施設見学や外出に取り組んでいきます。			職員の質の向上	児童の特性の理解や権利擁護、感染症について、虐待防止（身体拘束）等、研修に取り組んでいきます。また適時、児童発達支援管理責任者など資格習得等に取り組んでいきます。		
主な行事等		クリスマス会やハロウィン、豆まき、夏祭り、ぶどう狩りなど四季折々の移り変わりを体感できるような行事に取り組んでいきます。						